

「未来へのなご平和の鍵」

読谷小学校 六年 当真 英桜

六月二十三日 大きな音のサイレンが鳴

りひびく中、私はゆっくり目を閉じました。

その時、けいていたテレビからも同じ音がき

こえてきました。

今、この沖縄はきれいな青い海、青い空

があり、子ども達の笑ひがあり、心の豊かな

島^ゆちの人達もたくさんいると、でも平和な

沖縄下、私は家族や友達と平和に暮らせて

います。下が七十六年前、この平和がう

はわれ、子ども達が遊ぶ青い海は地上戦

への入り口となり、地上を明るく照らすため

の望はばく弾を落とす空になり、いろいろ

なものがある。あの日、あたり前じゃなくな

てしまいました。

私はおじいちゃんも体験した。あの日、の

ことを、ちゃんと知るために、本など下調べ

てきました。そこには、目を疑うようなこと

がたくさんありました。私が一番戦争の恐

私はい、あの日を体験してはいないし、よく
知らない、ただこの時間、話をいろんな
人と共用することではできないので、いろんな
人や身近な人に伝えていって、あの日のこと
をたくさんの方が知ることになればいいな
と思います。また、
そして、未来へつなげるための平和の鍵は
相手を思う気持ちや、その時の話を伝えてい
き、あの日を忘れないことだと私は思っています。